

グリーンテクノバンク・セミナー

イアコンサイレージの自給生産利用の意義と課題 ～津別町での実証的取り組みとヨーロッパの生産利用実態調査から考える～

現在、わが国の濃厚飼料自給率はわずか10%しかありません。地域資源を活用した資源循環型畜産を持続的に発展させるためには、安定的に供給できる濃厚飼料資源を地域内で自給生産する必要があります。昨今、北海道においては新たな濃厚飼料資源としてイアコンサイレージが注目されています。本セミナーでは、津別町におけるイアコンサイレージ生産の実証的取り組みについて紹介するとともに、ヨーロッパにおけるイアコンサイレージ利用実態調査報告をもとに国内外における濃厚飼料自給生産利用の意義と課題について検討するセミナーを開催いたします。

日 時：平成22年11月4日（木） 13：30～17：00

場 所：（独）農研機構・北海道農業研究センター大会議室
（〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1 TEL 011-851-9141
<http://cryo.naro.affrc.go.jp/>）

受 付 13：00～

講 演 13：30～15：30

1. 「津別町有機酪農研究会が取り組む濃厚飼料自給の意義と課題」
津別町有機酪農研究会 会長 山田 照夫 氏
2. 「北イタリアおよびドイツ北西部の畑作地帯における飼料用とうもろこし生産の実態 ～栽培面積、輪作体系、担い手および機械体系等～」
北海道農業研究センター 北海道畑輪作研究チーム 大津 英子 氏
3. 「北イタリアとオランダの畜産農家における自給飼料利用体系について」
北海道農業研究センター 自給飼料酪農研究チーム 大下 友子 氏

討 論 15：45～17：00

司会・コーディネーター 酪農学園大学短大部教授 名久井 忠 氏

参加費 無料

定 員 80名（定員になり次第、締め切らせて頂きます。）

主 催 （NPO）グリーンテクノバンク、（独）農研機構 北海道農業研究センター
農林水産省

共 催 ホクレン農業協同組合連合会

後 援 （社）農林水産先端技術産業振興センター

●申込方法 別添の参加申込書により、10月28日（木）までにFAXにてお申し込み下さい。（WORD形式）

●申し込み・問い合わせ／下記のセミナー事務局（大下）宛にお願いします。

【問い合わせ先】

○セミナー事務局

〒062-8555 札幌市豊平区羊ヶ丘1番地

北海道農業研究センター 自給飼料酪農研究チーム 主任研究員 大下 友子

TEL. 011-857-9236 FAX. 011-859-2178

○主催者連絡先

NPO法人グリーンテクノバンク

〒060-0002 札幌市中央区北2条西1丁目10番地 ピア2・1ビル5階

TEL・FAX 011-210-4477